

地域の医療と介護を守ろう



民医連・国会請願署名 ご協力をお願い



人権としての医療アクセスの保障を

社会医療法人社団健友会 理事長 伊藤浩一

人は誰もがケアし、ケアされながら暮らしています。ケアをないがしろにする社会からケアに満ちた民主主義へ——。私たち健友会をはじめ、全日本民医連は訴えています。

安心の医療へのアクセスは憲法で保障されるものです。経済学者のジョセフ・E・スティグリッツは、「オオカミの自由は、往々にしてヒツジにとっての死を意味する」という哲学者の言葉を引き、新自由主義が正義に反する社会を作ると指摘します。そして、社会正義の重要な一部であり、人権である医療へのアクセスも毀損していると批判します※。

生活保護基準の引き下げは違法とする判決を当事者が勝ち取った「いのちのとりで裁判」が示すように、憲法第12条の「不断的努力」を怠れば、人権は侵害されてしまいます。社会保障費を削減し、軍事費を増額して戦争の準備を進める社会状況はこうした人権侵害をさらに加速させます。

地域医療を守る署名へのご協力をよろしくお願いいたします。

※「スティグリッツ 資本主義と自由」ジョセフ・E・スティグリッツ、東洋経済新報社、2025年

地域医療を守る



医療機関の主な収益源は、公的医療保険から医療行為に対して支払われる診療報酬です。国が決めた基準を元に計算され、2年ごとに改定されます。

社会保障費の抑制政策が続く中、急激な物価高騰と賃金の上昇に直面し、多くの病院が経営難に陥っています。202

請願事項

①医療機関が突然閉鎖し、地域住民の医療に困難が生まれることのないよう、速やかに必

介護制度と処遇の改善を



要な対策を講じること
②医療機関が健全な経営を維持できるよう、医療・福祉に対する税金の使い方の優先順位を引き上げること

④介護保険制度の抜本的な見直しと国庫負担割合の引き上げ

請願事項（要約）

①ケアプランの有料化など負担増の制度の見直しを行わないこと

②訪問介護の基本報酬引き下げ撤回と介護報酬の再改定

③介護従事者の賃金引上げと人員増

④介護保険制度の抜本的な見直しと国庫負担割合の引き上げ

※1：6病院団体（日本病院会ほか）2025年3月10日記

※2：都道府県指定の訪問介護事業所なし

NHK調査（2025年4月10日）

友の会会員・読者のみなさまへ

今号の「健友」に署名用紙を同封しました。署名用紙は左の二次元コードからダウンロードできます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

《注意事項》

「〃」や「同上」は無効になります。全ての欄に記入をお願いします。

民医連
地域医療
特設サイト

介護署名
用紙

もう限界※
平和と社会保障を
立て直せ！
いのちまもる総行動

「いのちまもる総行動」が9月25日、日比谷野外音楽堂（千代田区）で開かれ、2200人が参加しました。社会保障の拡充などを求めるアピールが採択されたほか、リレートークでは、医療・福祉従事者から切実な訴えが相次ぎました。

リレートークから 処遇改善が不可欠

社会医療法人社団健生会
看護師 若林志保さん

働き始めた当時は仕事を覚えるのに夢中でしたが、結婚、出産、育児を経験する年になって、賃金に見合わない過重労働を強いられると気が付きました。

若い看護師のメンタル不調が問題になっていきます。人手不足で指導者や先輩が十分に話を聴けず、不安や疑問はそのままになり、孤独や疲労を感じていても、自立ばかりを急かされます。もっと看護師がいたらどうでしょう。誰かが休んでもフォローでき、個性のある看護の提案やチームの取り組みもできます。モチベーションもぐっと上がります。忙しいのが嫌なのではありません。やりがいを持

なぜ、命を守る医療従事者が軽視され、制度が改善され続けるのでしょうか。私たちはこの仕事が好きです。退職者を引き留められるぐらいの処遇改善をお願いします。



わたし
日本人の平均寿命は84.3歳、健康寿命は74.1歳で男女ともに世界第1位です。健康寿命とは、WHO（世界保健機関）が提唱した指標で、「健康上の問題で日常生活が制限されることなくすごせる期間」とされています。▼平均寿命と健康寿命の差、約10年間は、何らかの健康上の問題を抱えながら暮らす期間となります。8月、「今年上半年に独居自宅死、65歳以上が3万人」という新聞報道がありました。身寄りのない一人暮らしの高齢者は、健康に支障をきたす時に備えて、どんな準備をしておけばよいのでしょうか。▼筆者は8年前に、ある高齢男性の任意後見人となり、死後の手続き、家財処理などを定めた「遺言公正証書」を交わしました。すでに健康寿命を過ぎ、体調は徐々に悪化。2度の入院を経て、最期は介護付き有料老人ホームで息を引き取りました。▼誰もが避けられない最期の時をどこで、どう迎えるのか、どう備えるのか、大きな問いを受け取りました。（石）

非戦・人権・ケアの倫理をテーマに交流

第17回全日本民医連 学術・運動交流集会

よりよい世界の ために行動を

民医連加盟法人の医療活動や運動を学び合う学術・運動交流集会が10月10、11日、東京・有明で開催されました。フォトジャーナリストの安田菜

津紀さんが、「紛争地、被災地に生きる人々の声」取材から見えてきたこと」と題して記念講演を行いました。福島県、沖縄県、山口県、パレスチナで交流した人々とのエピソードを紹介しました。安田さんは6万人を超える犠牲者を出したパレスチナ・イスラエル戦争に触れ、「日本はイスラエル製のドローンを購入するのでは。実証済み」と言うけれど、誰の命を実験台にできたのか。政府は戦争に積極的に加担し

歯・医・介で 食支援を

健友会から 10件の演題

3つのテーマ別セッションでは、それぞれの専門家を招いた講演と各法人からの事例紹介やディスカッションが行われました。

2日目のポスターセッションでは健友会から10件の演題発表がありました(表)。研究成果をまとめたポスターを前に5分間のプレゼンテーションと質疑応答。共感や悩み、情報交換も活発に行われ、全国の仲間と共に学ぶ貴重な時間になりました。

井上誠教授が講演。嚥下機能が低下しても自分の歯で咀嚼できる高齢者のケースを紹介し、安易なミキサー食への切り替えに疑問を投げました。井上教授は、「嚥下が悪い患者は咀嚼も悪いはず、という概念を再考してほしい。咀嚼には嚥下を誘導する機能がある」と述べ、歯科・医科・介護の連携による食支援の必要性を強調しました。

ポスターセッション 健友会 演題一覧

(敬称略・順不同)

憲法9条・反核平和

- ボールは本土にある (山城陽平)

まちづくり・共同組織

- 友の会会員と職員でつくる寸劇「認知症花子さんシリーズ」(大出珠江)

無差別平等の地域包括ケア

- 多職種で取り組む気になる患者さんシート運動 (菅井一郎)

社会的困難事例、差別、貧困問題へのアプローチ ～ ジェンダー平等・ケアの視点、社会的処方～

- 認知症の発症と息子の経済的困窮が経済的虐待の要因となった事例報告 (大塚利恵)
- 外出支援を契機に引きこもりのA氏が獲得した行動変容について ～地域社会で継続して暮らすために (正木由美子)
- グループホーム入所者で特別障害者手当が獲得できた3症例の紹介 (山田智)
- 嗅覚を指標とした認知機能低下評価を試みて ～ニテストを行って～ (山田智)
- 健友会の無料低額診療事業の取り組みー移民難民・仮放免外国人支援の実践ー (高橋真由)
- 15年目突入！150回開催！中野駅前なんでも相談会の広がり (岡崎志歩)
- ミニシバリズム (地域主権) を生み出した杉並区でケアをつなぐよくなる会を取り組んで (勝又喜人)



新コーナー

ウチの所長さん

❶城西診療所
梶尾 裕 所長



患者さんの ありのままを

城西診療所に4月に赴任しました。患者さんの話を聴くのが好きです。一人ひとりの歴史として、話したことをそのままカルテに書いた(表)。研究成果をまとめたポスターを前に5分間のプレゼンテーションと質疑応答。共感や悩み、情報交換も活発に行われ、全国の仲間と共に学ぶ貴重な時間になりました。

専門は糖尿病

糖尿病は食事の自己管理が難しく、我慢している人も多いでしょう。避けた方がよいものをつい食べてしまったと打ち明けられることも。「しょうがないよね」「あれは美味しいよね」とありのままを受け止めます。悪くなるう、怒られようと

思って診療所に来る人はいません。「じゃあ、どうしようか」と話を進め、その人に合った食事や生活の仕方を相談します。治療方針を一緒に考えて元気になるってほしいですね。

友の会と 相談しながら

診療所の課題は経営改善。在宅診療を含め、多くの患者さんに診療所を知ってほしいですね。どうしたら浸透していくか、友の会のみなさんと相談しています。若い人にも来てもらいたいし、定期的なイベントも計画中です。

趣味は「本」

広島の実家で片付けをしていたら、岩波ブックレットの第一号(1982年)が出てきました。核戦争の危機を訴える文学者のみなさんの声明です。最近も日本被団協編集のブックレットが出版されました。戦争体験者の願いは本物です。第一号出版当時と現在の違いを考えてみるのもいいかもしれません。

ひとこと

城西診療所を
よろしく！

詩吟で元気に出演

かわしま健康友の会

芸能まつりの会場は今年も満員御礼の大賑わい。友の会からは詩吟の出演。会場の皆さんと元気に吟じました。また筆者は司会での参加。大緊張もなんとか完走しました。(窪田)



94歳の現役新聞記者

やまと健康友の会

6年ぶりに平和のつどいを開催。大和町在住でローカル紙の発行を続けている94歳の涌井友子さんに、仕事への熱意や平和の大切さを語っていただきました。後半は鷺宮高校のジャグリング部の元気な演技を楽しみました。(小堤)



共感の2時間

天沼健康友の会

毎月第1木曜日におしゃべり会を再開しました。第1回はお菓子とお茶を楽しみながら6人が参加。出身地や家族、仕事など、近



咀嚼のチェックも

桜山健康友の会

健康チェックを実施し、今回は咀嚼テストを新たに加えました。ガムを噛むタイミングがメトロノームに合わなかったり、血管年

弾き語りに感動

えこ・ぬま健康友の会

夏の歩こう会は、中野区立歴史民俗資料館の「戦後80年企画展」へ。見学後、近所のカフェを貸し切り、荒川さんの弾き語り「あたらしい憲法のはなし」に感動しました。(粉川)



況を話しました。「わかる、わかる」と共感しながら2時間があっという間。ぬり絵やゲームなど、要望を聞きながらすすめていきます。(田代)

連載 6

認知症多職種チーム

中野花子さんシリーズ 存知ですか？

寸劇「認知症の花子さんシリーズ」

中野共立病院 居宅介護支援事業所 窪田麻美

深刻になりがちな認知症をどうしたらポジティブに受け止められるか……。健友会では職員と友の会のみなさんと一緒に、認知症の「あるある」をユーモラスに笑いを交えてほっこりと描く寸劇「認知症の花子さんシリーズ」に取り組んでいます。

サポーター養成講座で誕生

寸劇が誕生したのは約10年前。地域包括支援センターケア24西荻の「認知症サポーター養成講座」で、認知症の方への接し方や対応の例を演じてみせたロールプレイが元になっています。認知

リアルな演技

「中野花子さん」を演じるのは、西荻健康友の会役員の菅井房子さん。あまりにもリアルな演技に「認知症の患者を舞台にあげるなんて酷い！」と苦情が寄せられたことも。菅井さんは日頃から認知症の方と接し、よく観察されているそうです。筆者が花子さんの娘を演



症のおばあさん「中野花子さん」の演技が評判を呼び、中野・杉並健康友の会の芸術まつりや市民講座をはじめ、警察官向けの講座でも上演してきました。

じ、大出珠江介護部長がケアマネジャー役と脚本、ギター伴奏を担っています。

日常的なシーンで

寸劇は花子さんと娘が介護の専門職に相談する場面から始まります。花子さんには物忘れなど日常生活でよく見られる認知症の症状があります。

歌も体操も

ストーリーにその時の話題を入れたり、看護師

娘はそんな花子さんを急かしたり、なじったり、怒ります。「私はまだ認知症じゃない」と言い張る花子さん。娘は「出かける前に財布がない、誰かが持っていた、泥棒、泥棒って大騒ぎしたでしょ！だから出かけるのが遅くなったじゃない」という具合に責めます。

地域共生社会を目指す

花子さんシリーズでは、オレンジカフェ（認知症カフェ）で認知症当事者が楽しく過ごした



介護・訪問看護のHPでも見られます

人 訪問診療車の運転手として

えこ・ぬま健康友の会 小澤 重久さん

江古田・沼袋診療所の訪問診療車の運転手をやってほしいとの依頼があったのは、9年前でした。地域もよく知っていましたし、役に立つなら引き受けました。

患者さん宅への訪問の行き帰り、先生と看



と感しました。私は25年前からネパールの子ども支援ととも

に、PHECT（フェクト）という住民と一緒に健康づくりをするめる病院とも交流が続けています。日本は健康保険証があればいつでも医療を受けられませんが、ネパールにはそうした皆保険制度はありません。その中でも市は、すべての区に「健康推進委員」を配置しています。委員の多くは女性で、健康への意識を高め、家族や

地域へ健康づくりを広げよう、そのためには日本の予防医学の考え方や、医療生協、友の会の活動から学ぼうとする熱意はひとかたでないものがあります。昨年からえこ・ぬま友の会の役員に、また今年からは中野・杉並健康友の会の幹事になり、活動にもかかわるようになりました。今年も11月にネパールへのスタディツアーを計画しているのですが、PHECTとの交流と学び合いを互いの活動に活かしていきたいと思っています。

つながる & つながる 病院・診療所・友の会

年齢や体年齢が実年齢と離れていたりと、参加者の皆さんからは思わず笑みがこぼれていました。（山江）



ラジオ体操で身も心もスッキリ

ももその健康友の会

梶尾所長を先頭にスタッフ5人と桃園薬局1人が芸術まつりのステージに参加。「杉山公園ラジオ体操」を披露しました。久しぶりのラジオ体操。舞台上で緊張しましたが、身も心もスッキリしました。（中西）

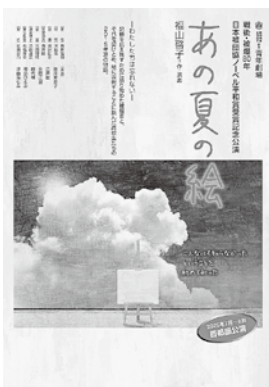


「あの夏の絵」を観賞

桃井健康友の会

7月28日、杉並区勤労福祉会館で青年劇場「あの夏の絵」を誘い合って会員5人で観ました。広島市立基町高校の生徒が被爆者の話を聞き、被爆者が体験した景色を

絵に描く話です。真剣に向き合う若者の姿に感動しました。（遊佐）



ようやく完了

西荻健康友の会

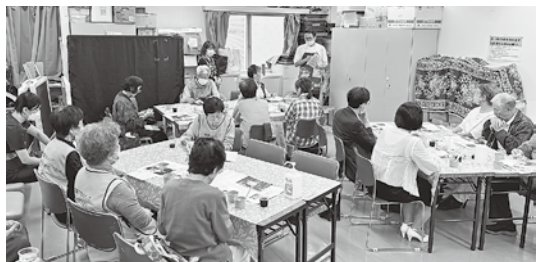
排水ポンプの故障で診療所の地下スペースに地下水が1m近く溜まってしまいました。水抜き、廃棄物搬出、消毒が9月によりやく完了しました。（小西）



カレーを食べながら難民を思う

中野共立健康友の会

ミニミニ健康デーを10月15日に開催。理学療法士による歩き方チェックや歌など盛りだくさん。つくろい東京ファンのみなさんのご協力でご協力のカレーの試食コーナーも。難民支援のリアルなお話をうかがいました。（渡辺）



芸能まつり 楽しくにぎやかに すべての友の会が参加して

ジャズ・ライブ

Bone-Papa(やまと)

コーラス替え歌

新婦人ひよこ (ももぞの)

銭太鼓

こゆう 鼓友の会 (やまと)

歌

うたう会 (桃井)

詩吟

藤田直子 (かわしま)

朗読・合唱

桜山健康友の会

寸劇「花子さん」 西荻健康友の会

ピアノ 弾き語り

轟志保子・犬山文子 (天沼)

フラダンス

フラ・オリ・ケイ (共立)

健康体操

えこ・ぬま健康友の会

朗読

朗読サークル (共立)

歌

健友会旧友会

民謡・民舞

瑞宝会 (共立)

ラジオ体操

杉山公園チーム (ももぞの)

歌 コーラス 花水木 (共立)

ハイサイおじさん

(敬称略・順不同)



Bone-Papa



フラダンス



弾き語り



ハイサイおじさん



客席

第26回芸能まつりが9月18日に開催されました。ここには各友の会などから16の団体や個人が参加し、日ごろの練習の成果を発表しました。オープニングではプロのジャズバンド・Bone-Papa(ボンパパ)が特別出演。エンディングでは、戦後80年の今年、沖縄から“ハイサイおじさん”が駆けつけ、満席の会場から大きな手拍子が響くフィナーレとなりました。

(編集部 石田)

健康友の会会員募集中

安心して住み続けられるまちづくり



健康ウォーク



健康チェック



平和バザー

申し込み書に必要事項をご記入の上、担当者にお申し出ください。
入会金は500円
です(年会費はありません)。

お申し込み

※各友の会によって異なります。詳細はお問い合わせください。

③ 支え合い

法律や生活に関する相談会等

② 健康づくり

割引
ワクチンや人間ドック等の

① つながり

機関紙「健友」や各友の会の
お便り、ご案内

友の会特典

中野・杉並健康友の会は、健友会の共同組織です。「安心して住み続けられるまちづくり」を共に目指すパートナー。地域のさまざまな課題に取り組んでいます。近年では、高齢者の補聴器購入費用の助成を求める運動を担い、中野区と杉並区で実現しました。
ころばん体操や歩こう会などの健康づくり、合唱や手芸のサークルなど、地域の仲間とつながる多様な活動や平和運動、ボランティアもたくさんあります。
友の会では会員を募集しています。ぜひ、一緒に活動しませんか。



健友会 無料低額診療事業

医療費のお支払いで お困りの方はご相談ください

対象となる方

経済的な理由で治療費の支払いが困難な方。
収入状況等確認・申請による審査があります。

実施事業所

中野共立病院 03-3386-3166(代)

中野共立病院附属中野共立診療所 03-3386-7311(代)

川島診療所 医科 03-3372-4438 歯科 03-3373-2741

中野共立病院リハビリテーション科

セラピスト募集中

様々な新しい技法や機械も取り入れリハビリの質向上をめざし、回復期から生活期、在宅まで診れるセラピスト集団をめざす職場です。一緒に成長しませんか。

理学療法士 (新卒)	1人
作業療法士 (新卒・経験者)	2人
言語聴覚士 (新卒・経験者)	1人

お問い合わせ 中野共立病院
事務長・塚本 03-3386-3166

編集部から

中野・杉並健康友の会は10月から12月の間、「仲間ふやし月間」に取り組んでいます。健友会は「お金のある、なしにかかわらず誰でも受けられる医療を」という地域住民の願いにこたえて設立されました。友の会は「まちの保健係り」として、地域の医療を守り、支える思いで健友会と一緒に活動しています。友の会のサークルにお知り合いを誘ってみませんか。「作品展」(11月19～21日、なかのZERO西館美術ギャラリー)でお待ちしています。

薬剤師募集中！

薬剤師さんをご紹介ください。

薬剤師も地域へ、在宅医療を旺盛に展開

株式会社 東京医療問題研究所 本社事務局電話 3389-6911

〒164-0001 中野区中野 5-47-10

ホームページ <http://www.toiken.co.jp>

●青葉調剤薬局	中野区中野 5-47-10	3389-7110
●ちひろ薬局	中野区沼袋 2-30-7	3387-3426
●わかば薬局	中野区弥生町 3-27-11	3372-5664
●すみれ薬局	中野区東中野 3-17-17	3362-2510
●西荻みなみ薬局	杉並区西荻南 1-14-19	3335-7200
●なごみ薬局	杉並区天沼 3-28-8	5347-0671